（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	たかもりユースサマー～若者がつながる日～
事業主体 （連絡先）	高森町 0265-35-9402（高森町役場総務課直通）
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	349,803　円　　（うち支援金：　245,000　円）

事　業　内　容

8月8日（金曜日）　イベント当日の流れ

13時頃～　イベントスタート
　イベント趣旨・目的説明、町長挨拶、事務連絡など
13時25分頃～　レクリエーション①　モルック開始
　参加者49人を6チームに分け、自己紹介をした後、
　モルック（3試合）を開始。
14時35分頃～　地元企業で働く人の思いを聞くコーナー①
　飯田下伊那で働く5事業所（全10事業所）の発表。
15時15分頃～　レクリエーション②　バスケ開始
　レクリエーション①で分かれたチームごと、バスケットボールを使ったミニゲーム（シュート対決、ドリブルリレー）を実施。
16時15分頃～　地元企業で働く人の思いを聞くコーナー②
　地元企業で働く人の思いを聞くコーナー①で発表をしなかった飯田下伊那の5事業所（全10事業所）の発表。
17時頃～　交流会（焼肉）の準備
18時頃～　交流会（焼肉）スタート
20時頃～　片付け・解散



【レクリエーション時のチームでの集合写真】

【目標・ねらい】

①参加者同士の交流を深め、
　横のつながりを築く

②飯田下伊那地域内の事業所
　情報を知り、この地域への
　Uターンを視野に入れる

※自己評価【A】

事　業　効　果

高森町公式LINEを通じて、イベントに参加した方に対し、イベント実施前後で飯田下伊那地域に関するアンケート（アンケートも公式LINEを通じて実施）を実施した。このアンケートの数値をもって、事業効果を測るものとする。

・飯田下伊那地域に関心がありますか？

→イベント実施前		イベント実施後	
関心がある	64%	関心がある	82%
やや関心がある	36%	やや関心がある	18%
どちらでもない	0%	どちらでもない	0%
あまり関心がない	0%	あまり関心がない	0%
全く関心がない	0%	全く関心がない	0%

・飯田下伊那の事業所について、知っていますか？

→イベント実施前		イベント実施後	
よく知っている	0%	よく知っている	0%
やや知っている	36%	やや知っている	73%
どちらでもない	21%	どちらでもない	18%
あまりわからない	36%	あまりわからない	9%
全く知らない	7%	全く知らない	0%

【理由】
　左記に記載の通り、アンケートの各項目で数値が向上し、イベントを通じ、参加者は飯田下伊那地域の「関心向上、企業情報取得、定住・就業への意欲向上」ができたと考えている。

イベントに関し、各内容に対しての振り返りは下記の通り。

・レクリエーション（モルック、バスケ）

　参加者49人を6チームに分け、チーム対抗戦の形式でレクリエーションを行った。モルック、バスケともに1時間程度実施したが、どちらも白熱し、チーム内の結束も深めることができた。また、参加者同士が自然と打ち解け、交流のきっかけを作ることができた。

・今後の願望として、飯田下伊那地域で住みたい、または働きたいですか？

→イベント実施前		イベント実施後	
そう思う	29%	そう思う	27%
ややそう思う	14%	ややそう思う	55%
わからない	36%	わからない	18%
あまりそう思わない	21%	あまりそう思わない	0%
まったくそう思わない	0%	まったくそう思わない	0%

・将来、飯田下伊那地域への就職を考えていますか？

→イベント実施前		イベント実施後	
考えている	36%	考えている	64%
考えていない	29%	考えていない	18%
わからない	36%	わからない	18%

上記の結果から、「若者に地域の魅力を共有し、高森町の魅力を認識、再認識してもらう」、「参加者同士が交流を深め、若者同士の横のつながりを深めるとともに、飯田下伊那地域の事業所の情報を知ってもらう」という目的は達成できたといえる。

・地元企業で働く人の思いを聞くコーナー

飯田下伊那で働く、10事業所の皆さんが自分の仕事、仕事に対する思いなどを発表した。飯田下伊那で働いている人にとっては、同世代の若手職員がどんな思いで働いているかを知ることができた。それ以外の人にとっては飯田下伊那での働き方や可能性を知り、将来はここで働いてみたいという気持ちを掻き立てることができた。

・交流会（会食）

焼肉をしながら、参加者同士が年齢や出身地域を問わず、交流をできる場を設けた。レクリーエション時や地元企業で働く人の思いを聞くコーナー時には交流できなかった参加者が交流でき、飯田下伊那地域に対する展望などを語り合う参加者の姿が見られた。

今後の取り組み

今回のアンケート結果も踏まえ、町が今後若者に対し、どのような取り組みを行うべきかを考え、振り返りを行う。来年度以降も町と地域商社で連携を図って、イベントが自走できるように準備していく。